

2017年度第5回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日時：2017年10月18日（水） 午後6時45分から
- 2 場所：国分寺労政会館 第1和室（3階） （国分寺市南町3-22-10）
- 3 議決権のある理事：8名
出席者：座間直壯、田中ヒロ、手嶋孝典、堀 渡、堀越洋一郎
欠席者：清田義昭、齊藤誠一、矢崎省三
事務局：
- 4 報告及び協議事項
 - (1) 第1号議案 会員の動向について【報告】
 - ・2017年10月5日現在
正会員88名2団体、賛助会員45名1団体、計133名3団体（合計136）
 - ・10/5付退会正会員1名
 - (2) 第2号議案 第30回多摩デポ講座：パネルディスカッション「除籍対象資料の処理を考えるー除籍と保存のジレンマを解消するためにー」について【報告】

日時：2017年9月18日（月・祝） 午後6時30分～8時50分
会場：国分寺労政会館 第3会議室（3階）
テーマ：「除籍対象資料の処理を考えるー除籍と保存のジレンマを解消するためにー」
パネリスト：中原千佳氏（西東京市図書館）、吉本龍司氏（(株)カーリル代表）
堀越洋一郎（多摩デポ・理事）、中川恭一（西東京市中央図書館長）
コーディネーター：堀 渡（多摩デポ・理事）

 - ・参加者36名
 - ・内訳は多摩地域市立図書館職員7自治体、15名（調布2、西東京6、東村山2、東大和1、日野1、府中2、武蔵野1）、他に、岐阜県瑞穂市立、千葉県印西市立、大学図書館から各1名。
※これは受付で所属を記入してくれたことにより、わかっている内訳。
 - ・会員17名、他は会員外の方。
 - ・館長会PTの小池、中川館長の了解を取って、PTの調査とアンケート結果を、配布資料の形で出すことができた。
 - ・この間の「多摩デポ」の取り組みの実務的な部分を総括的に扱うような内容なので、大勢来なければ困ると思っていたが、集まった自治体の数や職員数からは何とか形になった。現に、講座のタイトルに惹かれて参加したという職員の方もいた。
 - ・TAMALASの発展形の話提供、館長会PTの調査結果に見る多摩の自治体全体の保存の現状、ISBNのデータとしての問題点、と盛りだくさんで消化しにくい進行になったが、これまで共同保存にはあまり熱心ではないと聞いている市の職員も来ていたので、講座を聞いて反響が気になる。
 - ・受付で参加者に、任意だが所属や居住地を記入してもらった。今後も続けたい。今回に関しては、さらにアンケートや感想文の用紙を配っても、感想やご意見が返ってきたかもしれない。
 - ・実務に直結する内容の講座だと、現役図書館員の参加が多い傾向がみられる。
 - ・「多摩デポ通信」の原稿を依頼したところ、3人の方から中身の濃い感想文をいただいた。
 - (3) 第3号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告】
 - ・10月14日（土）に、第27回共同研究定例会を行った。

- ・「大量一括蔵書確認システム」の公開準備のための宿題となっていた、参加規程（案）を審議した。当日出された意見を加えて作り直した案文があるので、担当理事から提出する。検討しておいてほしい。
- ・一方で、準備としては、使う側にわかりやすい「使用マニュアル」を作る必要がある。
- ・公開前に、システムで得られる検索結果の検証はさらに必要だと考えている。多摩デポ内で試行・検証できるように、カーリルには内部でアクセスできるようにしてくれと依頼中。
- ・ISBN無し資料の同定方法の研究が継続議題であるが、カーリルからは、オリジナルに作った「多摩デポ統合検索システム」の試行版が提供された。ISBN有り資料でも、無し資料でも検索できる。これも実用レベルに高め、現行のTAMALASと合わせて公開できるといいと、研究会では考えている。精度の面でもデザイン等でも検証すべき段階なので、使ってみて指摘してほしい。
- ・吉本氏からは「利用者のリクエストに応じて検索する時にはなるべく範囲を緩くして結果を拾ってくること」、一方、「希少資料の保存のためにはなるべく厳密に結果を拾うこと」という原則が考えられる。という見方が話された。
- ・カーリルからは、微妙に違う書誌の同定の判断のためには、西東京市でのISBN無し資料の同定作業の経験から多摩デポ内で作った判定基準案を示してもらえれば機械的な同定支援システムに組み込んで試してみたい、と改めて求められた。
- ・次回定例会は、12月5日（火）。

(4) 第4号議案 第31回多摩デポ講座の企画について【報告・協議】

- ・例年なら8月までには行って来た、年度の第一回目の講座開催が9月中旬だったので、次回の講座を早急に企画し、秋の発行の「多摩デポ通信」には載せる必要がある。
 - ・事務局から一案に絞った提案が用意できていないが、できれば今理事会で企画を決めたい。
- ①案：多摩の保存問題では、実用書の（保存・除籍の）扱いのことが議論されていくだろう。それを考える際に示唆を与えられるような企画を立てられないか（ただし実用書全般ということは無理だろうから、個別分野の事例ということになる）。

- ・実用書を扱っている専門図書館、大学図書館の担当者に、そうした資料を使ったレファレンス事例についての経験談を聞く講座（講座としたいが、具体的によい館、講演者が思い浮かばない）。
- ・講座が無理なら、実用書（生活科学書や、旅行案内、PC関係のマニュアル本など）を収集している大学・専門図書館の見学会

例：東京家政学院大学附属図書館大江記念図書館

（一財）石川武美記念図書館（休館は木日、第一月曜、入館料300円）お茶の水

（公財）味の素食の文化センター「食の文化ライブラリー」（休館日曜、貸出のための登録料100円）、高輪台、五反田

（公財）旅の図書館/LIBRARY OF TOURISM CULTURE（休館土日、第4水曜、館外貸出はせず、無料）青山一丁目

- ②案：実用書の講座は次回以降に追求するとして、興味深い専門図書館の見学会を行う。

*多摩地域の図書館の見学

- ・中近東文化センター博物館・図書館（開館は月火水金、入場料1000円）三鷹、
- ・（公財）アジア・アフリカ文化財団アジア・アフリカ図書館（休館は月木、第3水曜）三鷹

- ・東京外国語大学附属図書館

*その他の資料施設

- ・印刷博物館（月以外は開館、入場料 500 円）10 月 21 日～1 月 14 日に行われている企画展示は「キンダーブックの 90 年」。
- ・立教大学の共生社会研究センター(市民活動資料コレクション)
→ 協議の結果、見学会の方向で事務局が調整し、ML で報告することを了承した。

(5) 第 5 号議案 第 3 回 TAMALAS 地域説明会について【報告・協議】

- ・日野市立中央図書館の飯倉館長から、「京王線沿線 7 市の広域利用圏の研修会として開催することに全市の館長の賛同が得られた。来年 2 月中旬ごろを予定したい。今後、日程やプログラムを詰めていきたい」と連絡あり。
- ・カーリル吉本氏の予定を伺い、都合の悪い日を連絡した。

(6) 第 6 号議案 『多摩デポ通信』第 44 号について

- ・通常なら 10 月中には発行しているが、11 月初旬頃の発行を予定。
→ 9 月 18 日の多摩デポ講座の総括、報告記事や、参加者の感想を載せる。
→ ここ数か月間の共同保存問題に関する動きや書誌を載せる。
→ 次の第 31 回講座の企画を具体化し、それを告知する。講座チラシ同封。
→ 共同研究の動きを載せる。
→ 堀の「出版ニュース」論文のコピー、執筆したたま手箱を同封。

(7) 情報交換

- ・都立多摩図書館の図書館長との懇談
- ・全国図書館大会第 12 分科会「出版流通」の報告者の永江朗氏が、「多摩デポ」の活動に触れられている。
- ・故黒子顧問の残された蔵書、資料の整理・始末の予定
→ 図書館関係の資料を日本図書館協会資料室に受け入れてもらうため、リストを作成中。
- ・岐阜県瑞穂市の図書館職員から、岐阜県図書館協議会の岐阜地区研修会の講師に来てほしいとの講演依頼が来た。2015 年に『情報の科学と技術』に堀が発表した「公共図書館の蔵書構築と共同保存事業」が、公共図書館の優先度の高い課題と思われるので話してほしいとのこと。12 月 6 日（水）午後に、同図書館へ行くことになった。

【多摩デポ記事】

- ・『出版ニュース』9 月上旬号 p4-9 「本のリユースの新たな展開 バリユーブックスを見学して」 齊藤誠一
- ・『出版ニュース』9 月下旬号 p32-33 情報区 『書店店長の想いと行動』※本の紹介
- ・『出版ニュース』10 月中旬号 「本を生かそう 保存し活用しつづけよう そのために知恵をだしあおう 一多摩地域の図書館と「多摩デポ」の経験から一」 堀 渡
- ・『みんなの図書館』2017 年 9 月号 (no. 485) “各地のたより” 欄 p. 64～p. 67 永江朗氏講演会「図書館の「捨てると残す」への期待と不安ー出版産業の危機のなかで 書き手として、利用者として」多摩デポ総会記念講演会 報告 東京発：蓑田明子

【共同保存図書館関連論文】

- ・特になし

【読売新聞 多摩版コラム「週刊たま手箱」】

- ・読売新聞 10月4日 多摩版コラム 週刊たま手箱「本を読む意義とは」(執筆、堀)

- ★ 次回の理事会 2017年12月11日(月) 午後6時30分～
- ☆ 次回の事務局会議 2017年11月4日(土) 午後6時30分～ 調布たづくり
- ★ カーリルとの共同研究 第28回定例会 2017年12月5日(火) 午後5時30分～ 国分寺
(終了後、忘年会の予定)

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、手嶋孝典理事、堀渡理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2017年10月18日

議長

議事録署名人

議事録署名人